2015年ショパン国際ピアノ・コンクール第2位

シャルル・リシャール＝アムラン

ピアノ・リサイタル

前回完売！アムラン、再びザ・シンフォニーホールへ!!

All Chopin Program

《オール・ショパン プログラム》

アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22

ピアノ・ソナタ 第2番 変ロ短調 Op.35「葬送」

24の前奏曲 Op.28

© Elizabeth Delage

Charles Richard-Hamelin

2022 12.11(日) 14:00開演（13:00 開場）　ザ・シンフォニーホール

全席指定 5,000円（税込）　主催：ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp

▌プレイガイド

■e+（イープラス） https://eplus.jp/symphonyhall（パソコン・携帯）　■ローソンチケット https://l-tike.com/symphonyhall [Lコード：54016]

■チケットぴあ https://w.pia.jp/t/symphonyhall/ [Pコード：216-386]

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

The Symphony Hall 40th anniversary Since 1982

2015年ショパン国際ピアノ・コンクール第2位

Charles Richard-Hamelin

シャルル・リシャール=アムラン ピアノ・リサイタル

2018年5月12日にザ・シンフォニーホールで開催された超満員のシャルル・リシャール=アムランピアノ・リサイタルの様子

© Elizabeth Delage

シャルル・リシャール=アムランは、2015年にワルシャワで開催されたショパン国際ピアノコンクールで第2位を受賞し、一躍注目を集めたカナダ出身のピアニストである。

大柄な体格のピアニストであるが、その音楽は柔らかくぬくもりに満ちている。作曲家の心に寄り添うような姿勢を貫き、ことに繊細な感情表出にすぐれている。多彩な音色も魅力で、特にショパン作品では、メロディを自然な抑揚をもって歌い上げ、気品を感じさせる。

この冬のザ・シンフォニーホールでのリサイタルは、オール・ショパン・プログラム。若きショパンの意欲作《アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ》、作曲家シューマンに「ピアノ・ソナタに新たな生命を与えた」と評価された《ピアノ・ソナタ第2番「葬送」》、そして、恋人ジョルジュ・サンドと過ごしたマヨルカ島でバッハ研究を土台に作曲された《24の前奏曲》と、20代のショパンの作品が連なる。

ショパンの心の襞をそっとなぞり、ひと筋の音楽の流れを美しく紡ぎ上げていくリシャール=アムランの究極のピアニズムを堪能していただきたい。

文・道下京子

シャルル・リシャール=アムラン［ピアノ］ *Charles Richard-Hamelin*

2015年に行われたショパン国際ピアノ・コンクールで第2位とクリスチャン・ツィメルマン賞（ベスト・ソナタ賞）を受賞し、同世代の中でも最も重要なピアニストと注目されている。2014年、モントリオール国際音楽コンクールで第2位、ソウルでの国際音楽コンクールで第3位と、ベートーヴェンのソナタ演奏で最優秀賞を受賞、2015年4月には、トロントの婦人音楽クラブから特別キャリアアップ賞を贈られた。

プラハの春音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭（フランス）、ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭（ワルシャワ）などの様々な有名音楽祭に出演。ソリストとしても、カナダの主要なオーケストラを含め、ワルシャワ・フィル、モントリオール響、トロント響、ポズナン・フィル、モントリオール市管、コリアン・シンフォニー等と協演している。

ケベック州ラナウディエル生まれ。P.サルドゥレスク、S.ライモン、B.ベルマン、A.ラプラントに師事。2011年マックギル大学を卒業、2013年にはイェール大学から修士号が贈られた。2016年にモントリオール音楽院を修了。ピアニストのJ.サウルニエとともに後進の指導にあたっている。

カナダのアナレクタ・レーベルからリリースされている6枚のCDは、世界中で高く評価されている。2018年にアンドリュー・ワン（Vn）とのベートーヴェン・ヴァイオリンソナタを、2019年にはケント・ナガノ指揮モントリオール響とショパンの協奏曲を、さらにショパンのバラード、そして2020年は24の前奏曲をリリース、いずれも高評を得ている。

2016年5月の日本でのリサイタル・デビューは各地で絶賛され、すでに6度の来日を果たしている。